



鈴鴨川に40匹のイワナが放され、魚のつかみ取りに挑戦！素早く逃げるイワナを懸命に追いかけ、38匹を捕まえることができました。??あとの2匹はどこいった??(8月3日)

今年のわんぱく講座“鬼っこ合宿”は「鬼ッズ・サマーキャンプ」と題して、8月2日から4日にかけて市内の「ふるさと体験館北上」で行いました。今年は応募者が多く定員枠を超えた36人の子どもたちが参加となり、製紙工場見学・星空観察・ウォークラリーなどの学習活動や、紙すき・妖怪ランプ&風鈴作りなどの創作活動と、いろいろな活動を体験しました。

北上市立 鬼の館だより 第33号

KITAKAMI Oni MUSEUM



わんぱく講座鬼っこ合宿 inふるさと体験館「北上」 「鬼ッス・SUMMERキャンプ」フォトギャラリー



テント張り→

これがカバーじゃない？

なに描こっかな〜♪



ランプ作り←



薪わり体験↓

さあ思い切って

いくよ！
せーのっ！



魚のつかみ取り→

そお〜とね



混ぜ混ぜ♪

よし、追い
込むぞ！

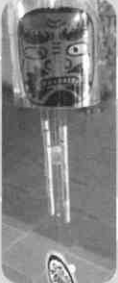
紙すき
体験

うん、いい感じ



おいしく
できましたよ

↑ランチ
タイム



妖怪ふうりん
作り←



うんオイシィ♪ 食事作り↑

さあて問題です！



創作活動
ワークショップ↑

おっきたきたっ！！



↑流しそうめん体験

鬼剣舞
ふうりん
チリン★



わあああ！

室内での星空観察会↑

これが銀河系です



妖怪ランプ作り↓

おい！鬼太郎！！

各種芸能仮面には様々な表情があり、演出により人々に喜怒哀楽の感受性をいだかせます。この特別展では、宮城県一迫市の能面師菅原夢玄氏の作品、能面教室「夢玄房」の生徒による作品等、約64点の能面を公開しました。

能面は大別すると、鬼神面・翁面・女面・男面・怨霊面と5系統に分類されます。怒りや喜びなどの「瞬間的表情」や、面の傾き加減で表情を変化させ長時間使用する、表情をもたない「中間表情」など、あらゆる面の表情をみる事ができました。



夢玄房 能面展

「幽玄の雅」

開催期間 4/25～7/4

心の創造主 神・鬼・仏

〜祈り…そして安らぎ!〜

開催期間 7/18～9/26

人類の誕生と共に、人々の「心」には育まれた精進信仰＝安らぎがあります。世界には、創造主（神・鬼・仏）として崇める対象によって様々な信仰形態が存在します。中でも創造主の“依代”として派生してきた仮面信仰は紀元前にまで遡り、姿を変えることなく現在まで受け継がれて、多様な仮面文化を形成しています。この特別展では、邪気・病気を追い払う面、伎楽面などあらゆるお面や、鬼瓦、わら人形、修験の軸装などを紹介し、人類共通の精進



特別展

H22年度 上半期 れぽーと



講座

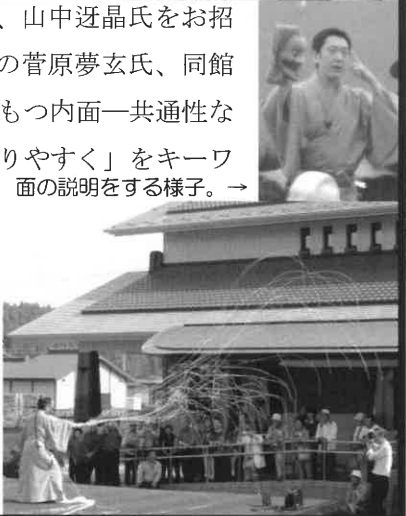
ワークショップ 能楽講座 幽玄の舞能 ~能のある空間~

開催日 6/12



この日は特別企画展「能面展」の一環として観世流能楽師シテ方、山中迺晶氏をお招きし、能楽講座を開催しました。講座の始めには、山中氏、能面師の菅原夢玄氏、同館の学芸員3人での会談が行われ、「能」と「鬼剣舞」の比較や、面のもつ内面―共通性などが話し合われました。山中氏は、能を紹介する際は「身近に」「解りやすく」をキーワードとしていて、「翁」の面は神を演じる時に使用します。千と千尋の神隠しに登場しています。湯屋で汚れを落とし、満足気に帰って行ったお爺さんの仮面をかぶった龍、アレがそうです。実は、河の神でしたよね。」と、一致させるなど、身近な話題で説明し参加者を納得させていました。講座の終盤では屋外ステージへと移動し、「土蜘蛛」を演じられました。放物線状に描かれた蜘蛛の糸の様子に会場は参加者たちの拍手で響き渡りました。

「土蜘蛛」糸を放った様子→



第十六回 大乗神楽 大会

祝法・祈禱・妖艶の舞

開催日 7/4



毎年行っている大乗神楽大会は、今年は7団体が出演し、約6時間、14演目の公演を開催しました。緩やかな扇踊りから激しい太刀踊りなど、あらゆる「祈りの舞」を演じ、観客を魅了させました。

また各保存会には、若い年代の方々がより増え、今後伝統を受け継いでいくという熱意も感じられる公演となりました。

今年も市内12組の保存会にご協力を得、1回約60分間の公演を解説付きでご鑑賞いただいています。

現在市内には14団体の保存会が活動し、県外にも愛好家の団体がどんどん増えてきています。毎回の



公演では、たくさんの拍手や、アンコールを頂くほど、多くのお客様からご好評を頂いてい

ます。「デント デンガラ シャン シャン シャン」と振り込みながら始まる二番庭の舞。

定期芸能公演 鬼剣舞

公演期間
4月～10月
第4週日曜日
午後1時30分～

芸能 H22年度 上半期 レポート



夏休みワークショップ
開催期間
7/26・30
8/9・11・13

子どもわくわくの日 イベント

開催日 5/5

「鬼に親しんでもらう」ため、毎年開催しているわくわくイベントは、今年は昨年のお面に色付け、妖怪風船作り、鬼に変身に加え、夢こいのぼりに願い事を書くコーナーを設け開催しました。さらに、市内の発明クラブによるわくわく工作コーナーや、ピエロの会による南京玉すだれなどの大道芸を盛り込み、館内中が来場者でにぎわいました。

「鬼に変身」コーナー
鬼剣舞の衣裳を着付け。↓
「妖怪風船作り」コーナー
絵を書く様子を見つめている子ども。↓

鬼ツズ・プレイ ミュージアム

工作づくりに迷ったらココ!?夏休みの工作づくりとして毎年たくさん子ども達にご利用いただいています。今年は「手すき和紙はが鬼(き)づくり」「魔除け鬼(キ)ーホルダーづくり」「ひえひえ妖怪うちわづくり」と鬼と親しむ事をねらいとした工作3コースを用意しました。うちわづくりに「私も作ってもいいですか?」と子どもと一緒に絵付けするお母さんや、和紙づくりで慎重に紙を漉くお父さんの姿も見られ、親子そろって楽しめる創作活動になりました。

「手すき和紙はが鬼づくり」
紙材を均等にととのえる親子。↓
「妖怪うちわづくり」
真剣に絵付けしている子ども。↓



鬼のお面を いつでも楽しく気軽に つくろう!!

～張り子技法による和紙の
鬼面づくりと色つけ～

★お面づくり体験メニュー★

全行程 300円（所要時間：3～5時間位）

★型に和紙を張る→型抜き→乾燥→目・鼻・耳穴開け→色ぬり

色ぬり 650円（所要時間：1～2時間位）

★出来上がったお面に色ぬり

お面づくり体験は
いつでもできるのか？

・いつでもできます。
ただし、人数が多い
場合は、あらかじめ
連絡が必要となり
ます。

お面づくり体験は
どこでできるのか？

・鬼の館館内
・出前講座として、
地域の集会所、
小学校等でも
できます。

お面の種類はどれ
くらいあるのか？

・全行程用の型は2種
鬼剣舞面、カップ面
・色ぬりのみは3種
鬼剣舞面、カップ面、
オコの面

このような所から
利用されています！

- ・子ども会
- ・学童、託児所
- ・幼稚園・小学校
- ・福祉協議会
(ふれあいデイサービスなど)

出前講座

こ ん な こ と を や っ て み ま し た ★

～北上市立鬼柳小学校2学年和紙面づくり体験～

「今度、学習発表会で2学年児童が(=45名)鬼剣舞を発表するので、その時につけるお面をつくりたい！」という依頼がありました。当館の「はりこの型」には個数に限りがある為、児童が自分でねんどの型(顔)を作り、それに和紙を張ってお面をつくることにしました。(実施日:9月15・16・22日/作業時間1日90分)



1日目・型づくり



小ピン2本を土台に
ねんどをつけていく

2日目・和紙をはる



和紙を張る

穴あけ



乾燥(約一日)

3日目・色をぬる



色ぬり



仕上げ

完成



できあがりっ!!

今回は鬼柳小学校の1時間目と2時間目の授業を使っての出前講座となりました。保護者の方々にもご協力いただき、全員完成させることができました。

型ができたら、ラップをして密着させる。

和紙は半紙2枚と成島和紙1枚を使用。

青、赤、白、黒と好きな色で色つけ。

毎年、博物館などで働く専門職員「学芸員」の資格を目指す大学生の実習を行っています。資料の取扱いから、施設運営など多岐にわたる内容を熱心に学習しました。ここで、実習を終えての感想をご紹介します。



岩手大学教育学部生涯教育課程
4年 千田 美紀

8月23日から29日までの1週間、鬼の館での博物館実習を終えて、振り返ってみるとあっという間でしたがとても内容の濃い実習であったと感じています。鈴木学芸員には、博物館とは何か、学芸員の仕事とは何かと言う基本から、資料の取り扱い、遺物の採取・収蔵方法さらには事業の企画、起案方法に至るまで、学芸の仕事の隅々まで教えて頂きました。他の博物館での実習の話や、手伝いだけで資料にも触れないという実習先もある中でとても貴重な体験をすることができたと感謝しています。

実習の中でも特に印象に残っていることが、実際の資料を使っただけの実習、遺物の実測と収蔵処理、事業の起案作業です。資料の取り扱いでは、実際の資料ということで学校で行った取り扱い実技とは違う緊張感とともに、資料を手にする喜びを味わうことができました。資料の取り扱いは、まずは私の思うように取り扱いをさせ、その後鈴木学芸員が本当の扱い方を教えるという指導法で、どこが違っているか、どこに気をつけなければならなかったかをしっかりと把握することができました。自分がこれくらい大丈夫だろうと思ってする作業の何倍も細かく、また、資料に合った扱い方をするためには、些細な部分にまで気を配る目が必要だと感じました。



遺物の実測、収蔵作業については全く体験したことがなかったので、とても新鮮な作業でした。畑に遺物を採取しに行った時は、畑に普通のように土器や石器が埋まっているということに驚きました。実測では、対象物の形を実物のように写しとることが難しく苦労しました。採取、収集した資料はそのまま収蔵庫に収納するのではなく、実測や収蔵台帳などで資料の情報を整理するという作業が行われていること、またその作業も学芸員の大切な仕事であることを学びました。そしてここでも収蔵台帳を整理するためにその資料の特徴、資料を採取した場所についての情報を把握する日が必要であると感じました。

最後に行った、事業の起案作業においては、自分で講座を企画し、館長に決済を頂く所までできました。大学の授業で自分で講座を企画してみるということは行ったことがありましたが、その講座を実行に移すために起案書を作るという作業は初めて経験しました。また、事業の開催に関してだけでなく、講師を招く時や資料を借りる場合、現地に調査に行く場合などお金が関わることには常に起案書を作成しなければならないということを知り、一つの事業、作業を行うために多くの下準備がなされていることも学びました。また、予算の積算も一つ一つの作業にかかる金額を調べるなど、学芸員にとって事務処理もとても貴重な仕事だと実感しました。事業の企画、チラシ作り、予算の積算、起案書作りなどを通して、たくさんの知識や技術を習得しました。

鈴木学芸員にはお忙しいなか、熱心なご指導をいただき、また館長はじめ職員の皆様からも温かく受け入れていただいたことに、本当に感謝しております。鬼の館で学んだたくさんのことをこれから先、いろんな場面で活かしていきたいと思っています。

平成22年度 下半期インフォメーション

○企画展・特別展

- 〈特別展〉 よろず伝承展 京仏師 佐久間 溪雲の魅力
10月10日(日)～11月26日(金)
- 〈特別展〉 鬼・氣・木の造形展
12月12日(日)～2月13日(日)
- 〈特別展〉 平成22年度収蔵資料展
3月6日(日)～4月17日(日)

●鬼学講座

10月30日(土)/11月20日(土)/12月18日(土)/平成23年1月15(土)・16日(日)

○芸能公演

10月10日(日) 口内鬼剣舞/10月24日(日) 三館鬼剣舞

●鬼ッス・フレイミュージアム

- ・冬休みワークショップ 12月26日(日)/平成23年1月9(日)・10(月)・12(水)・14日(金)
- ・鬼剣舞体験・面づくり 1月7(金)・15(土)・16(日)・23(日)・30日(日)
2月5(土)・6日(日)

○福豆節分会

平成23年2月6日(日)(予定)



ご来館をおまち
しております！

来館者の 声

・鬼はこわいものだと
思っていました。本
当は鬼はやさしいとい
う事を教えていただき
これからはやさしい鬼
に守られながら生活し
ていこうと思いました

・鬼は人の心なのだ
ということを知った。

・私は、一度きたこと
がありました。また
「オモシロイ」体験が
できました。

・職場では鬼と呼ばれ
ているので、仲間がた
くさんいて、孤独では
ないことがわかり、こ
れからもいきしていけ
そうです。鬼として。

鬼の里だより

●企画展・特別展

- <特別展>「能面展-幽玄の雅-」
 4月25日(日)～7月4日(日) 6,974人
- <特別展>「心の創造主 神・鬼・仏
 祈り…そして安らぎ!」
 7月18日(日)～9月26日(日) 5,575人
- <特別展>「ワークショップ 能楽講座
 幽玄の舞 能 ～能ある空間～」
 6月12日(土) 参加者 56人

●大乗神楽大会

7月4日(日) 顧客 187人

●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月30日

- 和紙面づくり 参加者 428人
 出前講座9件 参加者 211人
 <夏休みワークショップ>
 魔除け鬼一ホルダーづくり 参加者 57人
 手すき和紙はが鬼づくり 参加者 27人
 ひえひえ妖怪うちわづくり 参加者 61人

●鬼の館芸能公演

- 4月25日 北藤根鬼剣舞 顧客 257人
 5月3日 鬼柳鬼剣舞め組 顧客 326人
 岩崎おなご鬼剣舞 顧客 189人
 5月4日 岩崎鬼剣舞 顧客 153人
 5月23日 鬼柳鬼剣舞 顧客 163人
 6月6日 御免町鬼剣舞 顧客 134人
 6月27日 谷地鬼剣舞 顧客 113人
 7月25日 二子鬼剣舞 顧客 170人
 8月15日 岩崎鬼剣舞 顧客 120人
 8月22日 相去鬼剣舞 顧客 112人
 9月26日 滑田鬼剣舞

●鬼っこわんぱく講座

- こどもの日わくわくイベント
 5月5日 参加者 732人
 鬼っこわんぱく合宿「鬼ッズサマーキャンプ」
 inふるさと体験館北上
 8月2日(月)～4日(水) 参加者 36人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
 なお、入館は午後4時30分まで。

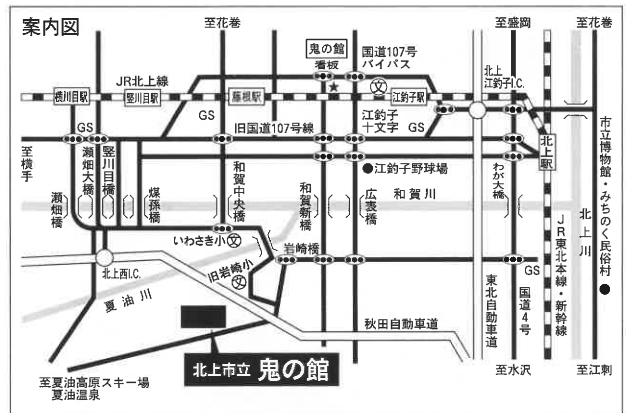
- 休館日**
- ・12月～3月の月曜日
 - ・12月～3月の国民の祝日の翌日
 (土・日・月曜日の場合は火曜日)
 - ・館内整理日(11月27日～11月30日)
 - ・年末年始(12月28日～1月4日)
 - ・臨時休館日(5月25日、9月7日)

入館料

一般	350円(300円)
高校生	240円(180円)
小中学生	170円(120円)

()内は20人以上の団体料金。
 下記の場合、市内小中学生は入館料が免除になります。

- ・毎週土・日曜日
- ・学習活動で申請利用する場合
- 交通利用**
- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
 煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」
 下車徒歩10分。
 - ・JR北上駅より車で20分。
 - ・東北自動車道「北上江釣子I.C」、
 秋田自動車道「北上西I.C」よりともに
 車で15分。



北上市立鬼の館だより

第 33 号 2010.9.30

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
 TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508